

特別展
三岸黄太郎展
ふたりのミギシコウタロウと節子と



三岸黄太郎(1930~2009)

三岸黄太郎(みぎしこうたろう・1930~2009)は、洋画家として著名な三岸好太郎(みぎしこうたろう)・節子夫妻の長男。彼もまた、高校時代より油絵を描きはじめました。1953年に銀座・兜屋画廊で個展を開催。以後フランスと日本を往来し、父母の感性を受け継ぎながらも自己の道を黙々と歩んで、シンプルな構成と繊細なマチエールで独創的な世界を打ち立てました。

とりわけ母・節子とともに暮らしたフランス東部の風土から生み出された数々の風景画は、心に沁みる詩情をたたえています。その寡黙にしてどこか唐突な感じは、夢のようでもあり、またほのぼのとしたユーモアや生活観をも含んで、観る者を引きつけてやみません。

本展では、三岸黄太郎長男の三岸太郎氏の協力を得て、三岸黄太郎の秀作を好太郎と節子の作品約70点とともに紹介し、共通の資質や、この画家ならではの個性をさぐります。

◎講演会

テーマ:三岸芸術の歩み ~好太郎・節子・黄太郎の眼差しから~

講師:三岸太郎氏(故三岸黄太郎氏ご子息)
日時:6月2日(土) 14:00~(13:30~開場) 定員:先着100名
※申込不要・聴講無料

◎スペシャルギャラリートーク

テーマ:黄太郎と好太郎—二人の「描く詩人」

解説者:苦名直子氏(北海道立三岸好太郎美術館 学芸員)
日時:6月16日(土) 14:00~
※定刻に受付集合・特別展観覧券でご参加いただけます。

◎ワークショップ

テーマ:ココロに染みる風景を描こう!

講師:柳瀬雅夫氏(画家) 日時:6月9日(土)、10日(日) 各13:00~16:00
定員:24名 材料費:1,000円
※往復はがきに、郵便番号、住所、氏名、年齢、電話番号、ワークショップ名を記入の上、5月27日(必着)までに美術館へお申込みください。

◎こどもアートツアー

日時:5月27日(日)14:00~
※定刻に受付集合・保護者の方は特別展観覧券でご参加いただけます。

◎学芸員による展示説明

日時:5月20日(日)、6月17日(日) 14:00~
※定刻に受付集合・特別展観覧券でご参加いただけます。

◎同時開催 常設展

三岸節子 花の贈りもの

父 三岸好太郎



三岸好太郎《道化》1930-31年
北海道立三岸好太郎美術館蔵



三岸好太郎(1903~1934)

母 三岸節子



三岸節子(1905~1999)



三岸節子《ブルゴーニュの一本の木》1985年
浜松市美術館蔵

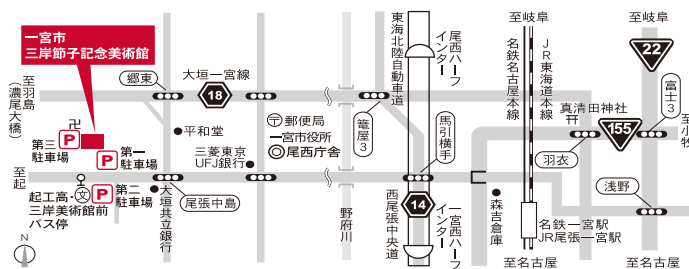
そして 三岸黄太郎



三岸黄太郎《夜の散歩道》1980年



三岸黄太郎《神々が居るところ》1993年



〈公共交通機関をご利用の場合〉

名古屋駅より電車とバスで約40分!

- JR東海道本線(名古屋駅⑤⑥番線)にて「尾張一宮駅」下車、または名鉄名古屋本線にて「名鉄一宮駅」下車(JR新快速・名鉄特急で10~15分)一宮駅西口の名鉄バスターミナル②番のりばから「起(おこし)」行きで約15分、「起工高・三岸美術館前」バス停下車、徒歩1分。[バスは約15分間隔で運行]
- 岐阜羽島駅(東海道新幹線)よりタクシーで約20分

〈お車をご利用の場合〉

- 大阪方面/名神高速道路:岐阜羽島I.C.より約15分
- 東京方面/名神高速道路経由:東海北陸自動車道一宮西I.C.より約10分
- 関・郡上方面/東海北陸自動車道:尾西I.C.より約10分

※駐車場には限りがございます。なるべく公共交通機関をご利用ください。

ICHIKOMIYA CITY
MEMORIAL ART MUSEUM
of SETSUKO MIGISHI



一宮市三岸節子記念美術館

〒494-0007 愛知県一宮市小信中島字郷南3147-1
TEL 0586-63-2892
<http://s-migishi.com>